

指定管理者の期末モニタリング

施設名	町立図書館	年度	平成29年度
指定管理者	株式会社図書館流通センター	担当課	教育推進課
指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日	期別	第2期
施設の目的	図書その他の資料提供を中心とする活動によって、町民の文化・教養・調査・研究・レクリエーション等に資することを目的に設置するもの。		
業務の内容	生涯学習及び情報提供の拠点施設として、図書館ビジョンの実現に向けた図書館業務を実施する。		

総合的な評価	
【総合評価】	A優良:2 B適正:12 C改善:0
<p>図書館ビジョンに掲げられた目標像を踏まえ、専門事業者としてのノウハウや組織力を活かし、図書の収集・貸出、行事開催、施設管理などのサービスを適切かつ効果的に実施していると認められ、その成果は利用者アンケート等の結果からも確認できる。</p> <p>また、町内小中学校図書室への司書スタッフ派遣やビブリオバトル中学生大会をはじめとした各種取組は、児童生徒の読書活動の推進に大きく貢献している。</p> <p>今後は、減少傾向に歯止めがかからない貸出者数及び資料貸出数の回復を目指し、まずは、町民利用者の増加を図ることを主眼に、利用者の視点に立ったより一層のサービス向上に努めるとともに、図書館だよりやホームページなどによるPR活動を継続し、町民の誇りとして愛される図書館となるよう努力を重ねることを期待する。</p>	
【評価事項】	
<ul style="list-style-type: none"> ・町内小中学校図書室への司書派遣をはじめとした、児童生徒の読書活動推進のための取組を行った。 ・子ども司書講座、ビブリオバトル等の小中学生対象事業の拡充を実施した。(参加者増) ・ブックポストの新設(設置はH30年度)、トイレへの荷物置台の設置、実用書コーナーへの椅子設置など、利用者サービス向上のための取組を行った。 ・図書館だよりや行事案内の宮代高校及び日本工業大学への配布、利用案内のリニューアルなど、利用者増のための積極的な取組を行った。 ・デジタル郷土資料拡充のための助成金を確保した。(図書館振興財団:100万円) 	
【改善事項】	
<ul style="list-style-type: none"> ・電子図書、デジタル郷土資料の利用促進を期待する。 	

1. 施設の管理運営・事業	評価	B 適正
<p>事業計画書に基づく開館日、事業、行事等については、計画通りに遂行された。</p> <p>■開館日数:291日(H28年度:289日) ■入館者数:173,746人(H28年度172,339人) ■新規登録者数:874人(H28年度:841人) ■貸出者数:97,623人(H28年度:98,541人) ■資料貸出数:358,547点(H28年度:370,529点) ■行事参加者数:4,572人(H28年度:4,749人)</p> <p>貸出者数及び貸出数については、前年度比で減となっており、平成27年度以降の減少傾向に歯止めがかかっていない。ただし、入館者数及び新規登録者数については、前年度比で増となっており、貸出者(貸出点)数についても、近隣市町の利用者を除く町民の利用は、いずれも前年度比増となっており、講座の新規拡充実施やチラシ配布等の取組の効果が表れているものと評価できる。</p>		
2. 利用者の公平確保	評価	B 適正
<p>利用登録、図書及び有料施設の貸出し等は、条例及び規則に基づき適切に実施されている。</p>		

3. 職員の配置、研修等	評価	B 適正
<p>人員は計画書に則った組織体制を実現しており、スタッフの接客対応については、利用者アンケートにおいて「満足」「おおむね満足」の割合が94%と高い評価を得ている。</p> <p>毎年度末に利用者アンケート調査を実施しており、利用者の意見や感想は全職員で共有し、改善すべき点については組織として対応している。</p> <p>職員研修は、指定管理者(本社)の研修プログラムに沿って研修参加の機会が保障され、計画的に受講している。</p> <p>また、平成29年度は、高齢者の利用サービスの向上を目的に、町地域包括支援センターとの連携による「認知症サポーター養成講座」の受講を企画した(実施は平成30年度の予定)。</p> <p>その他、町内外の中高学生の職場体験受入れのほか、障がい者の就労(自立)支援を目的とした職業体験研修(県立宮代特別支援学校、障がい者自立支援NPOアバンティ)の受入れなど、CSR(企業の社会的責任)活動にも積極的に取り組んでいる。</p>		
4. 施設の維持管理業務(清掃、植栽管理など)及び保守点検	評価	B 適正
<p>植栽管理、清掃、設備の保守点検など、施設の維持管理業務については、事業計画書に基づき適正に実施されている。</p>		
5. 施設の修繕	評価	B 適正
<p>施設の修繕については、利用者の安全及び利便性の確保を最優先に迅速に対応している。</p>		
6. 備品管理	評価	B 適正
<p>図書館の什器備品については適切に管理されている。特に老朽化が懸念される備品については、予算の範囲内において計画的に修繕、交換を行っている。</p>		
7. 安全・危機管理	評価	B 適正
<p>消防法に基づき、防火管理者の配置、消防計画の作成、避難訓練を適切に実施している。</p> <p>また、地元警察とも連携を図り、利用者に安心して利用いただける環境の確保に努めている。</p>		
8. 個人情報の管理	評価	B 適正
<p>個人情報の取り扱いについては、本社から派遣される監査員の監査を定期的実施しており、適切に履行されている。また、図書館システムのクラウド化(平成27年度実施)によって、利用者情報等のセキュリティ強化が図られている。</p>		
9. 利用者ニーズの把握・反映	評価	A 優良
<p>図書館協議会委員や図書館ボランティアからの意見聴取のほか、毎年度末に利用者アンケートを実施し、その結果と対応を館内掲示している。</p> <p>平成29年度は、これらの意見や要望を踏まえ、「ブックポストの進修館への設置(H30年度設置予定)」「トイレへの荷物台設置」「実用書コーナーへの椅子設置」「新聞閲覧コーナーへのめくりクリーム設置」などを実施した。</p>		
10. 自主事業の実施	評価	A 優良
<p>月例行事、季節行事ともに事業計画に基づき実施されている。</p> <p>また、町内小・中学校図書室の運営支援(司書スタッフ派遣)や「みやしろ子ども司書講座」「ビブリオバトル中学生大会」「読書通帳の発行」「らんどせるブック」「調べ学習出前ワークショップ」などの取組は、児童・生徒の読書活動の推進に大きく貢献している。</p> <p><平成29年度の新規・拡充事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・みやしろ子ども司書講座 ・ビブリオバトル中学生大会 ・調べ学習出前ワークショップ(町内小中学校の総合的な学習の時間に実施) ・読書通帳の発行 ・「はじめての万葉集」講座 ・「蜜蜂と遠雷」コンサート(ナクソスミュージックライブラリー活用) ・デジタル郷土資料拡充のための助成金確保(図書館振興財団:100万円) 		

11. 経費節減	評価	B 適正
<p>経費節減の努力は年間を通して励行されているが、前年度に大幅な削減を実現した電気料金が前々年度の水準に戻ってしまった。冬場の厳しい寒さへの対応によるものでやむを得ない部分はあるが、平成29年度に行った省エネ診断の結果活用や電力契約プランの見直しなど経費の削減に努めることが求められる。</p>		
12. 環境への配慮	評価	B 適正
<p>ごみの分別をはじめ、適切な処理を行っている。</p>		
13. 利用者への情報提供	評価	B 適正
<p>毎月発行している『図書館だより』では、新着図書や行事案内を掲載し利用者から好評を得ている。また、図書館ホームページでは、資料の予約や検索はもとより、図書館をより身近に感じてもらうために見やすく使いやすいページづくりに努めている。さらに、職員によるブログでは、フレッシュなニュースとともに親しみやすい形で図書館情報を発信している。平成29年度は、利用案内を最新の情報を掲載した親しみやすいデザインのものとしてリニューアルした。</p>		
14. 会計管理	評価	B 適正
<p>会計管理については、指定管理者(本社)の会計担当により適切に実施されている。</p>		